

防災科研ニュース

特集

- ・統合化地下構造データベース
- ・フィリピン地震火山監視強化と防災情報の利活用推進
- ・地震観測関連の文部科学省委託研究

行事開催報告

- ・科学技術週間「一般公開（つくば本所）」自然災害を楽しく学ぼう！
- ・科学技術週間「一般公開（雪氷防災研究センター）」

受賞報告

- ・浅野主任研究員らが2009年度日本地震学会論文賞を受賞
- ・中島兵庫耐震工学研究センター長が兵庫県功労者表彰を受賞
- ・長江主任研究員が2010年度日本建築学会奨励賞を受賞

研究の現場から

- ・皇太子殿下がEーディフェンスをご視察



特集

外部機関との連携によるプロジェクト研究

防災研究分野においては、その目的を達成するためには、国内外の研究機関等との連携はきわめて重要です。

国内においては、防災に関わる基礎研究から研究成果の実用化までを一機関で実施できることは希であり、様々な機関が協力しあい目的を達成しています。例えば、緊急地震速報は、防災科研で実施した基礎研究の成果を基に、気象庁によって実用化されたものです（防災科研ニュース、2007年秋号）。また、現在、3大都市圏等への整備が進められつつあるMPレーダネットワークは、防災科研が実施した基礎研究の成果を、国土技術政策総合研究所に技術協力し全国に展開しようというものです（防災科研ニュース、2009年春号）。実大三次元震動実験施設（Eーディフェンス）による実大規模構造物の実験につきましても、その多くは、対象とする構造物毎にオールジャパン体制で最適な布陣を組み、予備解析等も実施しながら実施しています（例えば、防災科研ニュース、

2008年春号）。

一方、海外に目を向けても、防災分野における開発途上国への協力を効果的に行うためには、対象国の社会的、地理的情勢を十分把握し、相手国のニーズをつかんだ上で、各機関の人的・物的リソースを最大限生かしながら、オールジャパン体制で臨む必要があり、関係機関との調整・連携が不可欠です。

今回の特集号「外部機関との連携によるプロジェクト研究」では、防災科研で取り組んでいる3つのプロジェクト、すなわち①統合化地下構造データベースの構築、②フィリピン地震火山監視強化と防災情報の利活用推進、③地震観測関連の文部科学省委託研究についてご紹介します。

本号より、防災科研ニュースに掲載された記事につきまして、ご意見・感想を募集いたします。①発行号のNo.、②記事名、③投稿者の所属・氏名、④Web掲載の場合の匿名希望の有無、を明記の上、k-news@bosai.go.jp までメールにてお送り下さい。お送りいただいたご意見・感想は執筆者にフィードバックします。また、当所のWebページにてご紹介させていただく場合がございます。